

おんじゅく

3

昭和58年3月

第233号

千葉県御宿町役場



思い出を胸に（御宿中学校卒業式）

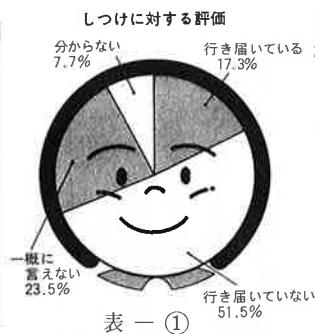
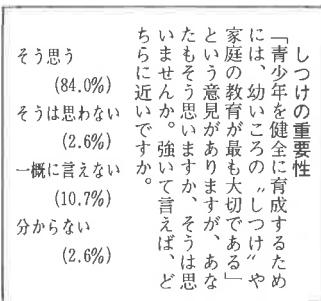
最近、青少年の非行や校内暴力、家庭内暴力などの増加が、大きな社会問題となっています。この背景として、私達を取り巻く社会環境が複雑になり、青少年の生活や意識にさまざまな影響を与えてきたことを挙げることができるでしょう。

こうした社会環境の中で、家庭での養育や教育はどうあるべきでしょうか。

健全な青少年を育てるための「家庭におけるしつけ」——その実態と意識を『昭和五十七年版青少年白書』から見てみましょう。

家庭のしつけ

青少年白書」から



「青少年を健全に育てるには、幼いころのしつけや家庭教育が大切」と思う親は八四%と最も多く、たいていの親は、家庭教育が重要だと認識しています。

しかし、社会一般の評価では青少年の「しつけが行き届いていない」と思う人が約半数を占めています。(表-①)

一方、「物の買い与え方」について、親と子の意識を比較すると、親は「必要以外の物は買えない」と思っている人が多いですが、子供から見ると、「どんな物でも買っててくれる」とする割合がやや多くなっています。(表-③)

親は自分で思っているよりも、

ふだんから言い聞かせていること



表 - ④

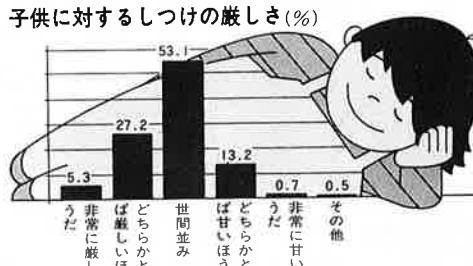


表 - ②

家庭でのしつけの厳しさについて見ると、「世間並み」と答えた親が過半数を占めていますが、「厳しい」と答えた親は「甘い」と答えた親よりも多くなっています。(表-②)

しつけの厳しさ

実際には、子供に甘い態度をとっているようです。

ふだんから言い聞かせていること



表 - ⑧



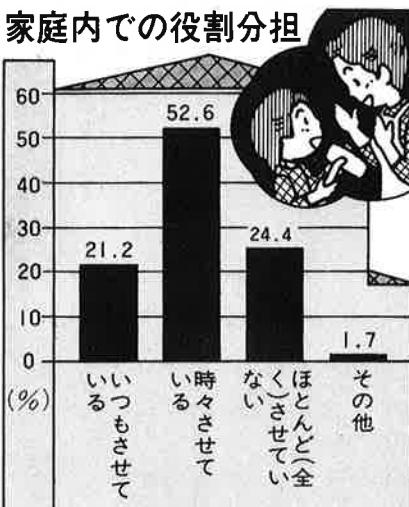
青少年と

「昭和57年版

家庭内での役割

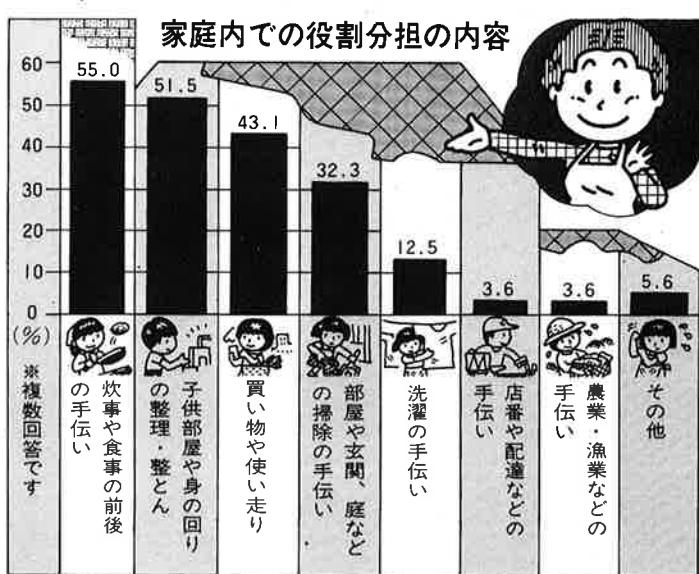
家庭内での役割分担についてみると、約七割の人が子供に何らかの家事や家業の手伝いをさせています。（表一⑤）

しかし、その内容は「炊事や食事の前後の手伝い」「子供部屋や身の回りの整理・整頓」「買い物や使い走り」など、比



表一⑤

※四捨五入の関係で合計が一〇〇にならないものもあります。



表一⑥

豊かな町づくりは
明るい家庭から
＝成人教養講座＝

「親が子を殺したり、子が親に暴力をふるつたりする奇形

な夫婦、親子関係が急増しています。なぜ、こうなってしまったの

か、その暗さをつくった原因をさぐりながら、明るい家庭づくりの方向を存分に考えてみましょう。」
三月四日、町公民館大ホールで、「明るい家庭づくりで、豊かな町づくり」と題した講演会が開かれました。
この講演会は、公民館・町教育研究会・PTA連協が主催し

たもので、講師は、流通経済大学の渡辺博史教授。
会場となつた公民館大ホールには、教育関係者をはじめ、約二百人の方が集まりました。
スカレートする青少年の非行を社会から一掃するには、親と子の対話のある明るい家庭づくりから始めていくことが第一です。

真実の声を一票にたくそう

4月10日 県会議員選挙
4月24日 町長選挙

今年は、統一地方選挙の年。
四月には、そのトップを切って
千葉県議会議員選挙(四月十日)
と町長選挙(四月二十四日)が
行われます。

私たちにとって、いずれも身
近な選挙です。みなさんの真実
の声を一票にたくし、棄権する

ことのないようになります。
選挙は、私たちの暮らしの願
いを反映させる最大のチャンス
であり、私たちの一票は、社会
を良くするための貴重な意志表
示です。悔いのない一票を投じ
たいものです。



今回初めて選挙権をもつた方
や、引っ越しをされて、自分は
どこで選挙したらよいのかなど
疑問をお持ちの方のために、投
票できる要件といろいろな投票
制度についてお知らせします。

○県議選挙の場合
昭和57年12月27日までに、当
該市町村の住民票が作成された
方で、引き続き3ヶ月以上住民
基本台帳に記載されている方。
(基準日 昭和58年3月27日)

○町長選挙の場合
昭和58年1月15日までに町の
住民票が作成された方で、引き
続き3ヶ月以上住民基本台帳に
記載されている方。
(基準日 昭和58年4月15日)

投票は、原則として投票日に
有権者が投票所に行つて投票す
ることになっています。
しかし、特別な事情により、
投票日に自分で投票できない方
などのために、次の制度が設け
られています。

◎代理投票
身体の故障などのため、自分
で投票用紙に書くことが出来な
い人のため、代理投票の制度が
あります。

御宿町内で投票するには、町
の選挙人名簿に登録されていな
ければなりません。名簿に登録
されている方には、投票日前ま
でに入場券が選挙管理委員会か
ら送付されます。

また、選挙人名簿に登録され
るには、次にあげる住所要件と
年齢要件を満たしていかなければ
なりません。

▽住所要件

○県議選挙の場合
昭和38年4月11日以前に生ま
れた方。
○町長選挙の場合
昭和38年4月25日以前に生ま
れた方。

◎年齢要件
投票日に年齢を満たす必要があります。

◎点字投票
目の不自由な方は、点字によ
る投票が認められています。

◎不在者投票
投票日に仕事などの「やむを

得ない事情」で投票所に行けな
い方は、告示の日から投票日の
前日までの間に不在者投票をす
ることができます。

不在者投票所は、役場内に設
置します。

3、あなたの投票所は

| 投票所名 | 場所 | 区域 |
|-------|-----------|-----------|
| 第一投票所 | 御宿小学校体育館 | 久保、新町、六軒町 |
| 第二タク | 公民館 | 須賀、浜、高山田 |
| 第三タク | 岩和田小学校体育館 | 岩和田 |
| 第四タク | 布施小学校体育館 | 上布施 |
| 第五タク | 実谷区民館 | 実谷、七本 |

地区別有権者数

S 57.9.2現在

| 地区名 | 男 | 女 | 計 | 地区名 | 男 | 女 | 計 |
|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 須賀 | 360 | 416 | 776 | 六軒町 | 271 | 309 | 580 |
| 浜 | 313 | 355 | 668 | 岩和田 | 579 | 673 | 1,252 |
| 高山田 | 125 | 123 | 248 | 上布施 | 203 | 217 | 420 |
| 久保 | 358 | 387 | 745 | 実谷・七本 | 288 | 332 | 620 |
| 新町 | 526 | 605 | 1,131 | 計 | 3,023 | 3,417 | 6,440 |

投票区別有権者数

S 57.9.2現在

| 投票区別 | 男 | 女 | 計 |
|-------|-------|-------|-------|
| 第1投票区 | 1,155 | 1,301 | 2,456 |
| 第2タク | 798 | 894 | 1,692 |
| 第3タク | 579 | 673 | 1,252 |
| 第4タク | 288 | 332 | 620 |
| 第5タク | 203 | 217 | 420 |
| 合計 | 3,023 | 3,417 | 6,440 |

こんな時

世帯主は必ず届出を!!

● 国民健康保険 ●

三月は、就職・転勤・進学等異動の季節です。世帯主は、自分の世帯に属する被保険者の資格に異動のあつた時（以下の表に該当する場合）は必ず十四日以内に届出をしてください。

欠陥商品を買わされたときあなたは：

春は進学、就職の季節。せつなく買った背広が、一回着ただけでシワになつたとか、訪問販売で無理に学習用教材を買わされたとかの苦情が多くなる時季もあります。

県の消費生活相談窓口に寄せられる苦情相談は毎年増加し、昭五十六年度には、二千六百四十三件の相談がありました。（別表参照）

この苦情相談の傾向をみると商品では、学習用教材・書籍・化粧品・印かん等の雑品が多く、内容では、販売方法・契約・サービスに関する相談が多くなっています。（1）、実際に被害を受けたときは、実際に被害を受けたときは、

県消費生活センターに寄せられた相談の内容(56年度)

| 商 品 别 件 数 | 内 容 别 件 数 | | |
|-----------|-----------|--------------------|-----------|
| | 区 分 | 内 容 | 件 数 |
| 食 料 品 | 363 | 安 全・衛 生 品 質・機 能 規 | 274 698 5 |
| 住 居 品 | 561 | 計 量・量 目 | 50 8 |
| 光 熱 水 品 | 50 | 被 服 品 | 404 121 |
| 雜 品 | 795 | 表 示・廣 告・包 装 | 30 30 |
| 土 地 住 宅 | 65 | 販 売 方法・契 約・サ ー ビ ス | 1,000 |
| 小 計 | 2,238 | ク リ ー ニ ン グ | 160 |
| 役 務 | 267 | 買 物 | 61 |
| 生 活 一 般 | 138 | そ の 他 | 174 |
| 計 | 2,643 | 計 | 2,551 |

る。

消費者被害は、当事者間で解決するのが原則です。企業では、消費者の苦情を有益な情報として、

企業活動のなかにとり入れる考え方ともみられ、消費者窓口を設置する企業も増えています。

(2)、相談機関に申し出る事業者から納得のいく回答がもらえないとき、法律にもとづいて判断してほしいとき、他の人に也被害がおよぶ恐れがあるときなどは、消費生活センターにご相談ください。

消費生活センターでは、トラブルの内容を詳しく聞き、必要に応じ、現物・現場の確認、商品テスト、事業者との話し合いを行い、トラブルの解決に努めます。また、商品購入にあたつてのチェックポイントなどについての相談も行っています。

▽千葉消費生活センター

千葉市中央二一一七一七一七

トラルプラザ六階

電〇四七二一一四一〇九九九九

| 届出をしなければならない場合 | 持参するもの |
|-------------------------------|----------------------|
| 職場等の健康保険をやめたとき | 印かん・職場の健康保険をやめた証明書 |
| 転入してきたとき | 印かん |
| 子供が生まれたとき | 印かん・母子手帳・保険証 |
| 生活保護をうけなくなったとき | 印かん・生活保護停止通知書 |
| 職場の健康保険にはいったとき | 印かん・両方の保険証 |
| 転出するとき | 印かん・保険証 |
| 死亡したとき | 印かん・保険証 死亡を証明するもの |
| 生活保護をうけるようになったとき | 印かん・保険証 保護決定通知書 |
| 市町村内に住所がかわったとき | 印かん・保険証 |
| 世帯主や氏名がかわったとき | 印かん・保険証 |
| 世帯をわけたりいっしょにしたとき | 印かん・保険証 |
| 保険証をなくしたとき | 印かん |
| 子弟が修学で他の市町村に転出するため、別保険証が必要なとき | 印かん・在学証明書 保険証 |

水道の水は “砂漠のオアシス”となりうるか!!

資源有限。水もまたしかり。
これからは貯えられた水が最も安全で、しかも貴重。

道路網の整備・開発の進行。
樹木の伐採などにより、地下水浸透する水が少なくなる。

生活の高度化、多様化による水需要の増加。地下水の枯渇。汚染などが懸念される。

上水道がますます貴重な時代が必ずくる。上水道は、砂漠のオアシスのような貴重な存在価値となる。

防衛を。

▼計画性をもちましょう。

現代の消費生活において、計画性をもつということは、とても大切なことです。割賦販売などの普及で欲しいと思えば、何でも買える時代です。不必要なものを購入したり、後で毎月の支払いに苦労したり、信用を失うことのないよう、十分計画することが必要です。

▼豊富な商品知識をもとう。

あなたは、今着ている洋服の織維名がわかりますか。科学の発達は、様々な商品を生みだしています。新しい知識を身につけてください。

ることとは大切なことです。

消費生活モニターの方を対象に研修会を開催……

町では、各地區に一名の消費者モニターを委嘱して、私たち消費者の意向の把握や啓発に努めています。

二月二十二日には、県消費生活センター指導員の水野麻耶子先生を講師に、モニターの方を対象に研修会を行いました。

研修内容は、訪問販売に対する注意点をはじめ、食料品を買う時のチェックポイントなど実例をあげての説明を受けました。



入学前のしつけと心構え

日増しに春めいてきました。

新しく小学校に入学する児童の家庭では、喜びと期待そして一抹の不安を感じる毎日ではないでしょうか。

四月からは長い学校生活が始まります。そこで「家族の心構え」と「入学前のしつけ」について考えてみましょう。

(1) 家庭での心構え

一番大切なことは、学校は楽しい所という期待感を持たせることです。また、楽しい学校生活を送るためにには、何といつても健康が大事。入学前の健康診断で異状があつたお子さんは、入学前に治療して健康な状態で入学させたいものです。

(2) 入学前のしつけ

自分のことを自分でできる子どもは、学校生活にすぐとけ込め、自信をもって行動することができます。

六歳児なりの基本的な生活習慣は身についていると思います

が、特に次の「入学前のしつけのポイント10」を参考に、マスターさせるよう努力させてください。

①名前を呼ばれた時、「はい」

と返事ができる。

②自分の思っていることが、はつきり言える。

③自分のことが、自分でできる。

④自分の名前を書いたり、読んだりできる。

⑤仲良しの友人が何人かいる。

⑥登下校の道を車に気をつけて歩くことができる。

⑦二十分位で食事を終えることができる。

⑧好き嫌いなく食べられる。

⑨がまんすることができる。

⑩父母の名前、家の電話番号が言える。

⑪新入学児童の交通安全

事故防止は 家族ぐるみの話し合いから

新入学児童の交通安全

新学期はもうすぐ。新入学を

迎える子供たちは、通学しばじ

めるとともに、行動範囲が広が

ります。子供の場合、新しい環

境への適応力がなかなか伴わな

いため、この時期、交通事故が

心配されます。

入学を前に、各家庭で交通ルールやマナーについて、話し合ひを持つことが大切です。

新入学児童の安全を 願つて黄色い帽子を贈る

新入学児童の安全を 願つて黄色い帽子を贈る

お母さん 気を付けてあげましよう

新学期を迎えて、お母さんに

心掛けていただきたい点を挙げてみましょう。

▽登校時間に余裕を持たせまし

文夫さん(浜四四八番地)は、四年に町内の小学校に入学する一年生百二十六名に黄色の帽子を贈り、交通事故防止に役立てています。

タクシーカー会社を経営する式田さん(浜四四八番地)は、四年に町内の小学校に入学する一年生百二十六名に黄色の帽子を贈り、交通事故防止に役立てています。

式田さんは、児童・生徒の交通事故防止に深い関心を寄せ、毎年町内の新入学児童に同じ様な贈り物をしています。

千葉のつどいが 開催されます

▽明日の準備は、寝る前にさせましょう。

忘れ物をしたため、途中であわてて取りに帰ろうとして事故にあうケースが多いのです。

寝る前に翌日の準備をさせ、忘れ物がないかどうか点検する習慣を、身に着けさせるようにしましょう。

▽出かける間際に、しからぬようにします。

しかられると、子供はそのことで頭がいっぱい。周囲の状況が目に入らなくなり、思いがけない事故のもとになります。

子供が家を出る時は笑顔で「いつてらっしゃい」と声をかけられるようにします。

▽通学路を歩くように徹底させましょう。

入学前に、子供と指定された通学路を歩き、横断歩道の正しい渡り方、信号の見方、標識の意味などを勉強し合いましょう。

▽日時 昭和58年4月14日(木)

間千葉のつどいを4月14日(木)に開催します。テーマは「行政に期待するもの、婦人の活動に期待するもの」です。皆さんのご参加をお待ちしています。

▽場所 千葉市民会館

▽内容 講演「男女平等促進への課題—世界に学ぶもの—」

総理府婦人問題企画推進本部

▽参加方法 当日会場で受付

▽参加料 無料

その他詳しいことは、千葉婦人少年室(〇四七二一五一三四七)にお問い合わせください。



今年もお世話になりました

海の子・山の子交流

八回目を迎えた野沢温泉村の皆さんとの交流が、今年も

一月二十九日から三十一日までの三日間行われました。

当町の中学生に若干の負傷者がでましたが、全員がスキーをはくことができ、けがをした子供たちも、白い野沢の楽しい思い出が、それを打ち消したようです。

素晴らしい自然の中でのスキー、そして野沢の人たちの暖かい心。夏には、野沢の皆さんのが御宿を訪れます。真心で迎えるようにしたいと思います。

「野沢に行つて」 野沢の人は明るくて優しい

御宿中一年 松本千春

「わあー、白ぱっかり。」
雪なんかめったに見たことのない私だから、あたり前の事をそのまま口に出してしまった。

どこまでも続く「雪景色」銀世界。これを見れば、雪国に永く住んでいる人以外なら、誰だってそう思うだろう。

野澤に行つて「何を学んだの

か」と言えば、第一に「スキーが滑れるようになつたこと」。

これは絶対だ。でも、滑れるようになるまでに、何度も転んだくなつて、もうやりたくないと思つた。でもがまんをして……。

これで少しは忍耐が養えた。そして、なんとか滑れるようになつた。これはもう根性があるのみ。

スキーで忍耐と根性を教えられた。

第二に、「海山交流で友達になつた美世ちゃんに会えるとい

うこと」。このことが、何よりもうれしかった。
友達に会うのが、あんなにも感動的だなんて知らなかつた。美世ちゃんの顔を見たら、つい抱きついてしまつた。美世ちゃんは自分を忘れていたなかつた。これだけで胸がいっぱいでした。うれしくて、うれしくて。文通だけが私達のつながり。「電話あまりしないから、忘れられちゃつたかな?」少し心配だった。だから向こうから「千春ちゃん」で呼ばれた時はもう……。

とにかく、友達がいつでもそばにいるつてことは、いいことだな。つくづくそう思つた。

第三に、「野沢の人は、明るくて優しい」。これは、民宿のおばさんから感じたことだ。この野沢温泉での私の体験は一生の思い出の一つとして、いつまでも心の中に残しておきた

「野沢に行つて」 またいつかこのスキー場で

御宿中一年 岩瀬光洋

一月二十九日早朝、大勢の見送りの中、私達一年生は、素晴らしい白銀の世界を夢みなながら、野沢温泉へと出発した。

バスの中では、歌を歌つたり

楽しみながら、目的の野沢温泉へ、夕方無事到着。

広場での盛大な歓迎会。面倒

みのいい、民宿のおばさん。

二日目、いよいよスキーが出来るんだなあと思いながら、ス

キー靴をはく。重いはずのスキーブーツも気にならず、足どりも軽くスキー場へ向つた。

一面真白で広々としたスキ



